

2018年4月26日(木) 晴

鎌倉アルプス「天園ハイキングコース」

単独行

コース距離： 9.7 km、 所要時間： 3時間24分(休憩含む)

コースタイム： JR鎌倉駅(6:45)→(6:57)八幡宮前→(7:27)永福寺跡→
(7:33)瑞泉寺登山口→(8:05)天台山→(8:22){大平山}地図上→
(8:27)ゴルフ場横→(8:32)大平山→(9:08)十王岩→(9:16)勝上献
→(9:25)半僧坊→(9:34)建長寺(9:46)→(10:10)江ノ電鎌倉

* 山行軌跡



* 行程グラフ



アプローチ： 4月25日夜にJR京都駅前より深夜バスに乗り横浜へ、翌日（26日）朝横浜駅東口のスカイビル前に到着し、JR横浜から横須賀線に乗って鎌倉駅に到着する。

山行記： 鎌倉駅改札前には待合室はなく登山準備は出来ずに気温も低かったので、すぐに登山口に向けて歩き出す、小町通りから若宮大路に出て鶴岡八幡宮前で右折して進んで行き途中で体が温まり衣服調整で登山準備して岐れ路を過ぎた時に地元の人に声を掛けられる。

私が地図を観ながら歩いているので何処へ行くのかと聞かれ、一つ先の斜めの道を行き山に入ると説明すると道は細いが行ける説明を受けて左斜めの道を進んで行く。

奥へ入って行くと枝道が多くあり早く曲がり過ぎた、永福寺跡を目印に進んで行きやっと本来の道に出て進んで行くと登山道の標識が有る所に出られた。

ここが瑞泉寺登山口で登って行く登って行く右側に送電線の鉄塔を見つけ現在地を確認しもうすぐ天台山で山頂は登山道から横に入り込む、三角点は見つけたが周りは灌木が生い茂り展望は出来なかった。

山頂からもう一本踏まれた道が有ったが同じ道を引き返しすきに進む、右に踏まれて道を確認して先を進み大平山を目指すが現在地が判りにくく進んで行く天園の峠の茶屋に店は営業休みの表示が有り通り過ぎて行くと盛り上がった広場が有り大平山かと思ったが標識がない。

地図の表記ではここが大平山だが標識はないが看板が有り大平山はこのコース最高峰と書かれている、先を進むとゴルフ場の横を歩くことになりその先に一人の登山者が休憩されていて唯一海側の展望が出来た。

その先を登ると大平山の標識と基準点の石柱が有る所に出た、地形図の位置とはかけ離れて居るが標識が有るのでここが大平山になっているのだと言いかせる。

先に進んで行くと大木が二本在った、覚園寺への下山道を見送りすきに進むと鎌倉十王岩の展望と刻まれた石碑があり後方の岩に登ると視界が開け由比が浜方面が見渡せた。

建長寺方面に下山して行くと勝上献から建長寺を見下ろす場所に出る、この先に進むには入山料と称し500円支払いを求められ支払い下山する、羽を付けた像が出てくるここが半僧坊だ、そこを下って建長寺境内に降り立つ。

建長寺から一般道に出て鎌倉駅を目指して歩いて行く、観光バスの駐車場が多くある中を通り過ぎ小町通りを通りJR線路を潜り江ノ電の鎌倉駅に。



瑞泉寺登山口と案内図



滑り易い苔むした岩の上を歩く



道 標



登山道の花



多い枝道と道識



天台山の三角点



登山道の花

ジャガの花



ゴルフ場横を歩いて行く



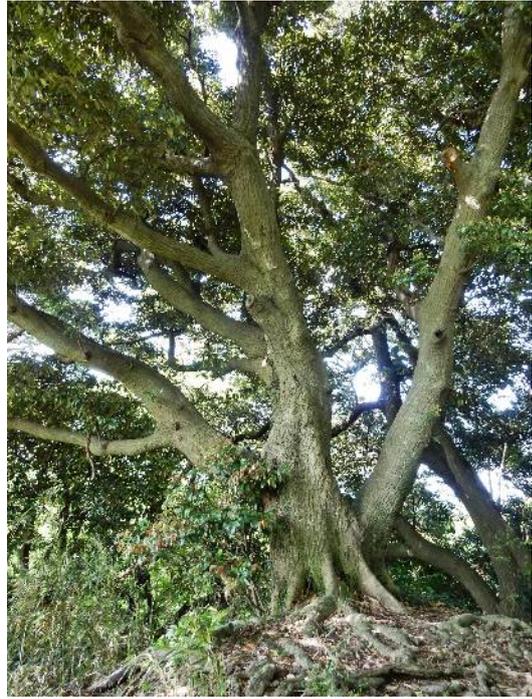
大平山の広場より由比が浜方面



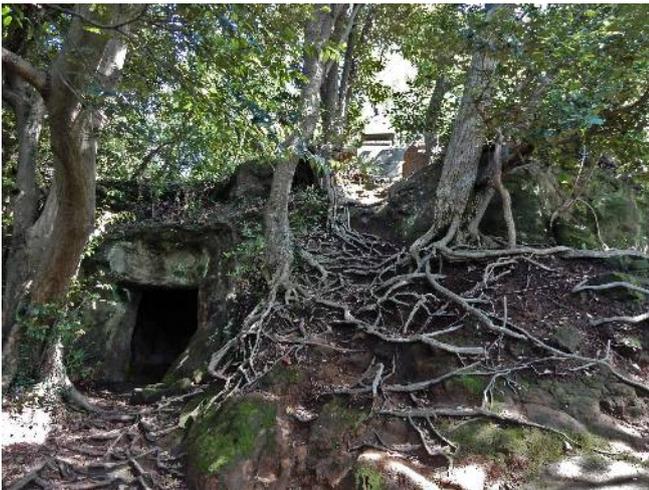
大平山の広場からのパノラマ



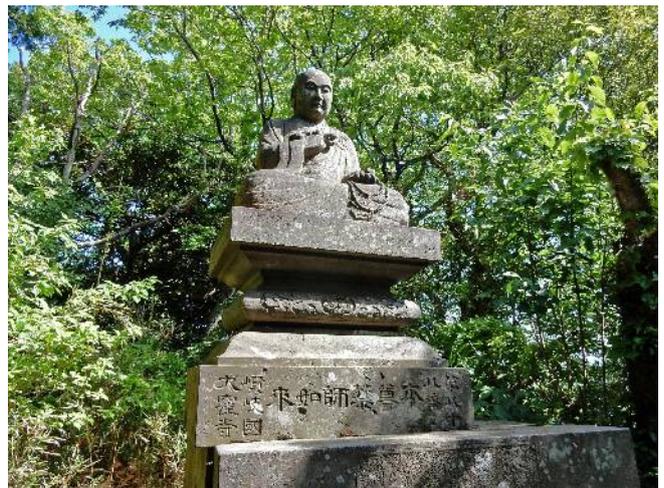
大平山の山頂



登山道の大木



祠の上に如来像が



薬師如来像



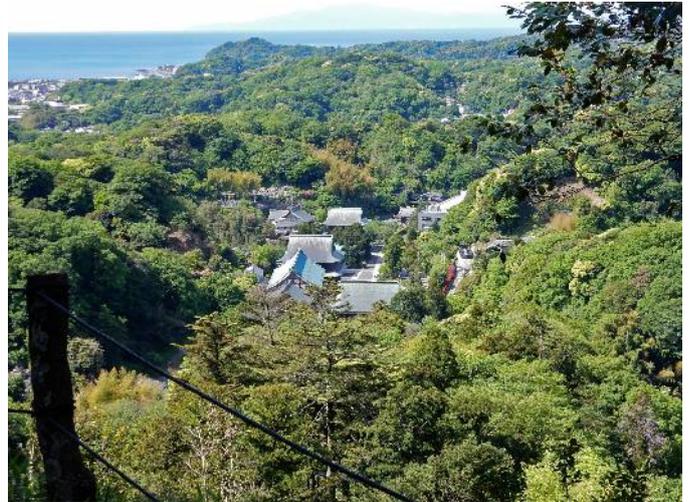
十王岩の標識



十王岩上から由比が浜



十王岩



勝上献より建長寺を見下ろす



半僧坊の像



壁面の像



建長寺の境内